

平成 30 年度 第 2 回 防府市上下水道ビジョン策定懇談会（会議録）

日時	平成 31 年 3 月 13 日（水） 14：00～15：15
場所	防府市上下水道局 2 階会議室
委員出席	樋口委員、石竹委員、原井委員、中村委員、山野委員、西村委員、吉野委員 （欠席者：熊安委員）
傍聴者	0 人
事務局	河内局長、奥住局次長、吉武課長、大田課長補佐、中島係長、伊崎主査、宮本主事
委員会内容	<p>1. 会長挨拶</p> <p>2. 欠席者の報告</p> <p>3. 議事</p> <p>（1）防府市の水道・下水道に関するお客様アンケートの集計結果について</p> <p>事務局 —資料①説明（アンケート回収結果、注意事項、1 水道について）—</p> <p>会長 ・質問はあるか。 ・問 1 で「一度沸かしてから飲む」、「浄水器を利用して飲む」と回答された方が、問 4 の料金が高いことに対しては、そんなに強い不満を持っていないのかどうか気になる。 クロス集計はしたのか。</p> <p>事務局 ・クロス集計はしてない。 —資料①説明（2 下水道について）—</p> <p>会長 ・質問はあるか。 ・下水道事業への不満も、水道と共に使用料が高いことが 1 番率として高い。 ・下水道のほうが色々な項目に回答がバラけているという印象。 ・水道と下水道で回答者の意識の違いが垣間見える。</p> <p>事務局 —資料①説明（3 水道料金・下水道使用料について）—</p> <p>会長 ・質問はあるか。</p> <p>A 委員 ・水道局から検針の記録と一緒に漏水していないか連絡がきた。水道局はすご</p>

く親切だと思い、節水にも気を付けようと思った。

B 委員

- ・トイレが壊れた際にA委員と同じ経験をした。
- ・防府市の水は良い水だと褒められたことがある。

事務局

- ・県内で防府市の水道料金はちょうど真ん中、下水道使用料は下から2番目である。全国的に見て、防府市がどのくらいの位置か市民の皆様にお知らせしないと料金についてはわかりづらいも感じた。
- ・水道料金は平成13年以降、下水道使用料は平成11年以降、消費税は別として実質料金は値上げしていない。

C 委員

- ・料金を払うほうは、気になることだから料金を高いと思いがちであるが、そのように教えてもらえると納得できる。

A 委員

- ・災害時に給水車はすぐに各地区に配備されるのか。

事務局

- ・現在、水道局には給水車が2台しかないが、県内の他市に給水応援に駆け付けてもらえる体制はとられている。
給水タンクは何個かあるため、それを各所に配置していくという対応もある。

—資料①説明（4 節水について）—

会長

- ・質問はあるか。

事務局

- ・節水は普及してきていると思うが、どう思われるか。
トイレを流す水量も少なくて済むようになってきており、洗濯機も使用水量は減っている。

会長

- ・メーカー側も節水機能を1つの売りにして、製品を出している。

事務局

—資料①説明（4 災害対策・老朽化対策について）—

会長

- ・質問はあるか。

D 委員

- ・このような情報がホームページで公表されているのか。

事務局

- ・比率の分析表としてグラフを掲載している。
説明の優しさが足りないところもあるかもしれない。
- ・グラフまで辿り着けないかもしれない。
ホームページをより見やすくしないといけないと思う。
- ・耐震化について、耐震化に適した管が出てきている。
法定耐用年数は40年だが、最近の管は80～100年もつと言われている。老朽管を交換する際に耐震管に変えるようにしている。
- ・現在の耐震化率は22.3%程度。毎年1.5%程度更新しており、完了には70～80年かかる。
更新率の全国平均は、0.7%程度のため、完了までに100年以上かかるとされ、水道事業の大きな課題となっている。
- ・防府市の更新率は高いが、全体の耐震化率は低いため、耐震化を促進していかなければならないが、相当な費用がかかるため、水道料金とのバランスをとる必要がある。

D委員

- ・現状、壊れたら更新しているのか。
- ・どこから更新していくのか。

事務局

- ・壊れているところは更新する。
- ・基本古い管から更新するが、埋めてある土地の地質等も考慮して、優先順位を決めている。
- ・約40年前から水道管を入れているので、これから耐用年数が超えても更新できていない管が増えてくる。

会長

- ・問16で機会があれば知りたい方はかなり多いが、自分から情報を手に入れるために意識的に動かれる方は少ないと思った。
- ・ホームページを見て欲しいというのも、情報の伝達手段としては限界があると思う。

事務局

- ・市広報に載せるのも1つの手だが、掲載箇所が少なく伝えたいことが伝わりにくい。
- ・水道関係の内容だけの特別号を作成している市もあるが、事業を進めていく上でそういうことも検討する必要がある。

会長

- ・私の住んでいる市では、検針のお知らせと一緒に水道・下水道に関するチラシが時々入っていて、水道水の水質検査結果や決算・予算が掲載されている。
情報を提供する機会を色々考えたらよいのではないか。

事務局

—資料①説明（6 水道・下水道の広報等について）—

会長

- ・質問はあるか。

事務局

- ・問21で市広報の割合が高いのは、回答者の年齢層が高いので、20代、30代の方が多ければ、もう少しホームページ等にシフトすると思う。

会長

- ・年代により、情報伝達手段に変化もある。

A委員

- ・ホームページを市民に見やすいようにして欲しい。

事務局

- ・アンケート結果でホームページを見たことがない、職員と対応したことがないという回答が多い中で、役場的なところは必要な時に検索して調べたり、問い合わせをされるということから、ホームページ等努力はしているが、ホームページ自体に入って来てくださらないという状況もある。
- ・市広報等の紙媒体は、あれば手に取って見ることがあると感じているが、経費等もかかるので、簡単にいかないところもある。今後の広報については、経費を抑えて手法を考えないといけないと思う。

会長

- ・市の行政情報をメールで送信することがあれば、そこに載せることもでき、ホームページにアクセスするきっかけになるかもしれない。

事務局

- ・メール等のプッシュ型の情報伝達は、冬場の凍結災害でよく利用する。
- ・市のメールサービスを利用される方は、災害関係のお知らせの登録は必須で、それ以外のお知らせは任意の設定となっているため、そこもメールサービス担当課と協議する必要がある。

D委員

- ・淡如水について、災害備蓄用で作られているとしたら、500ミリリットルでは効率が悪くないか。
- ・売るのであれば、もう少し美味しくないと思わないか。
- ・広島県で製造されているが、防府市内の業者でできないのか。余計なコストをかけないで欲しい。

事務局

- ・ボトリングをしたのが広島県であり、中身は防府市の水道水である。
- ・防府市内にも製造をする業者はいるが、そこに頼むとなると、大量な発注でないと製造してくれない。製造から約2年後が賞味期限なので、大

量に製造するとほとんど賞味期限を超えて、廃棄しなければならなくなる。適量の水をボトリングしてくれる業者は、広島県三原市にしかない状況である。

- ・実際に使用する際は、2リットルのほうが良いかもしれないので、検討する。
- ・平成21年の豪雨災害でお配りしたところ、500ミリリットルで良かったという声をいただいている。

2リットルだと、高齢者が持って帰るのが重くて辛い、一度に飲み切れない等の声もあった。

備蓄用であれば、2リットルのほうが有効と思う。

会長

- ・アンケート調査全体を通して、意見はあるか。
- ・これがホームページに掲載されるのか。
- ・いつ頃掲載するのか。

事務局

- ・これを掲載する。
- ・最終的な掲載内容は市長まで了承を得るため、4月になるかもしれない。

(2) 防府市上下水道ビジョンの基本理念・基本方針・施策体系について —資料②～⑥説明—

会長

- ・質問はあるか。
- ・基本方針3の基本目標の具体的な施策の中で官民連携の推進とあるが、どういう内容をお考えか。

事務局

- ・現在、下水道のほうは包括委託しているので、それを詳しく記載する。これからできる官民連携を考え、記載できたらと思う。

会長

- ・下水道中心となるのか。

事務局

- ・水道、下水道どちらも記載する予定である。
- ・民間委託について、昨年12月6日に水道法が改正され、民間委託の部分だけが国会や報道でクローズアップされている。
あたかも全国の水道事業者がこの法律が通れば、全部民間委託するような報道もされているがそうではない。
人口の減少により水道料金収入が減少する中でいかに事業を継続していくかが大きな課題であり、今回の法律改正の一番の目的は、それに対応するための水道事業の基盤強化である。
基盤強化の1つの方法として、民間に運営権を代行して事業をすることができるとのことだが、それぞれの事業者がどのように考えるかであり、防府市上下水道局では、ここ10年の計画ではそこまで考えていない。

4月から、窓口業務を民間委託できないかと進めているが、水道事業の主たる業務以外の民間委託について、何か良い方法がないか検討している複数の市区町村が1つになって水道事業を運営する広域連携についても改正された。

資産の更新計画を立て、適切な資産管理を行うようにも言われている。官民連携も色々な方法があり、多様な官民連携を考えていこうと改正された。

下水道もほとんど同じである。

会長

- ・基本方針を3つ挙げているが、順番について、防府市としての順位付けを念頭に置いて、この並び方になったのか。

事務局

- ・どれも重要であり、特に順番はない。
- ・以上で、第2回防府市上下水道ビジョン策定懇談会を閉会する。

